



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
コード番号 9012 URL <https://www.chichibu-railway.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 英伸
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 佐藤 伸 TEL 048-523-3311
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,284	6.2	106	—	99	—	80	△83.1
2024年3月期第1四半期	1,209	5.0	△29	—	△14	—	475	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 87百万円 (△66.3%) 2024年3月期第1四半期 261百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	54.10	—
2024年3月期第1四半期	320.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	16,173	5,017	31.0	3,370.00
2024年3月期	16,453	4,929	29.9	3,310.87

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 5,006百万円 2024年3月期 4,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,600	7.5	40	24.7	30	△30.4	△40	—	△26.93
通期	5,100	3.8	150	787.8	100	408.3	20	△78.4	13.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	1,500,000株	2024年3月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	14,487株	2024年3月期	14,487株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	1,485,513株	2024年3月期1Q	1,485,513株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	11
3. その他	11
4. 補足情報	11
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、引き続き沿線地域の人流回復傾向が見られたものの、諸物価の上昇など、予断を許さない状況が続きました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は1,284百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は106百万円（前年同期は29百万円の営業損失）、経常利益は99百万円（前年同期は14百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は80百万円（前年同期比83.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

[鉄道事業]

鉄道事業におきましては、旅客部門は、「わくわく鉄道フェスタ」や「貨物列車乗車体験」などの鉄道の魅力を活かした体験型イベントを開催いたしました。また、当社の運行するSL（C58 363号機）の製造80周年を記念し、25年ぶりに旧型客車を使用した特別運行を実施したほか、各種記念乗車券類の発売など積極的な旅客誘致に取り組みました。これらにより、旅客の人員及び収入は、前年同期に比べ増加いたしました。

貨物部門は、輸送量が減少したことにより、貨物収入は前年同期に比べ減少いたしました。

営業費用は、減価償却費が減少したほか、修繕工事の一部を第2四半期以降に変更したため修繕費が減少いたしました。

この結果、営業収益は827百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は15百万円（前年同期は44百万円の営業損失）となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、賃貸収入が駐車場をはじめとする賃貸物件の稼働率向上などにより前年同期に比べ増加した一方、請負工事収入は前年同期に比べ減少いたしました。

営業費用は、売上原価が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は91百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は54百万円（同14.3%増）となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、料金改定の効果や天候にも恵まれ、長瀬ラインくんだりをはじめ各施設の収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は111百万円（前年同期比31.1%増）、営業利益は5百万円（前年同期は21百万円の営業損失）となりました。

[卸売・小売業]

卸売・小売業におきましては、コンビニエンスストアをはじめイベントやSL列車内における売上が増加いたしました。

営業費用は、人件費などが増加いたしました。

この結果、営業収益は157百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は5百万円（同13.1%減）となりました。

[その他]

バス事業におきましては、前期に実施された貸切バスの下限運賃改定の効果もあり増収となりました。建設・電気工事業におきましては、完成工事高が増加いたしました。

この結果、営業収益は235百万円（前年同期比52.5%増）、営業利益は22百万円（前年同期は18百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ279百万円減少し16,173百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ279百万円減少し1,578百万円、固定資産は0百万円減少し14,594百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ367百万円減少し11,155百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ232百万円減少し3,267百万円、固定負債は135百万円減少し7,888百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、その他に含まれる設備投資未払金の減少によるものです。固定負債減少の主な要因は、長期借入金が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ87百万円増加し5,017百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月24日の「2025年3月期業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	981,760	759,481
受取手形、売掛金及び契約資産	329,657	436,793
分譲土地建物	93,787	93,111
商品及び製品	32,916	37,980
原材料及び貯蔵品	153,267	156,523
その他	271,815	98,823
貸倒引当金	△5,145	△4,222
流動資産合計	1,858,059	1,578,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,145,872	13,180,868
減価償却累計額	△10,179,547	△10,195,190
建物及び構築物(純額)	2,966,325	2,985,677
機械装置及び運搬具	4,301,116	4,306,688
減価償却累計額	△3,912,814	△3,936,920
機械装置及び運搬具(純額)	388,301	369,768
土地	10,993,233	10,993,233
その他	941,091	940,467
減価償却累計額	△848,764	△856,782
その他(純額)	92,326	83,684
有形固定資産合計	14,440,187	14,432,364
無形固定資産	5,249	4,646
投資その他の資産		
投資有価証券	99,241	108,709
繰延税金資産	13,036	12,667
その他	59,128	58,468
貸倒引当金	△21,750	△22,159
投資その他の資産合計	149,656	157,685
固定資産合計	14,595,094	14,594,696
資産合計	16,453,153	16,173,187

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	175,936	131,752
短期借入金	805,000	805,000
1年内返済予定の長期借入金	1,370,111	1,381,099
未払法人税等	20,035	9,445
未払消費税等	50,636	88,719
契約負債	88,502	103,100
賞与引当金	179,014	102,067
その他	810,815	646,345
流動負債合計	3,500,051	3,267,530
固定負債		
長期借入金	3,380,443	3,231,011
繰延税金負債	6,374	10,008
再評価に係る繰延税金負債	3,091,577	3,091,577
退職給付に係る負債	1,188,571	1,201,904
特別修繕引当金	81,900	88,200
長期預り金	104,437	104,917
その他	170,368	160,704
固定負債合計	8,023,672	7,888,322
負債合計	11,523,724	11,155,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	19,032	19,032
利益剰余金	△2,876,900	△2,796,541
自己株式	△31,880	△31,880
株主資本合計	△2,139,748	△2,059,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,275	46,377
土地再評価差額金	7,026,052	7,026,052
退職給付に係る調整累計額	△7,242	△6,859
その他の包括利益累計額合計	7,058,085	7,065,570
非支配株主持分	11,092	11,152
純資産合計	4,929,428	5,017,333
負債純資産合計	16,453,153	16,173,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業収益	1,209,917	1,284,855
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	882,921	856,428
販売費及び一般管理費	356,866	322,113
営業費合計	1,239,787	1,178,541
営業利益又は営業損失(△)	△29,870	106,313
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19,274	1,009
土地物件貸付料	3,024	5,366
助成金収入	3,602	—
その他	1,238	1,640
営業外収益合計	27,140	8,017
営業外費用		
支払利息	7,921	11,858
減価償却費	3,370	—
その他	181	3,259
営業外費用合計	11,472	15,117
経常利益又は経常損失(△)	△14,202	99,213
特別利益		
投資有価証券売却益	501,564	—
補助金受入額	—	19,400
特別利益合計	501,564	19,400
特別損失		
固定資産圧縮損	—	19,400
減損損失	—	15,414
特別損失合計	—	34,814
税金等調整前四半期純利益	487,362	83,798
法人税、住民税及び事業税	10,232	1,741
法人税等調整額	1,570	1,662
法人税等合計	11,802	3,403
四半期純利益	475,559	80,395
非支配株主に帰属する四半期純利益	173	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	475,385	80,359

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	475,559	80,395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△215,610	7,125
退職給付に係る調整額	1,237	383
その他の包括利益合計	△214,373	7,509
四半期包括利益	261,186	87,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,993	87,844
非支配株主に係る四半期包括利益	192	60

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	68,294千円	46,812千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	卸売・ 小売業	計				
営業収益									
外部顧客への 営業収益	817,074	89,730	84,092	139,422	1,130,320	79,596	1,209,917	—	1,209,917
セグメント 間の内部営業 収益又は 振替高	2,648	3,750	774	8,741	15,914	74,677	90,591	△90,591	—
計	819,722	93,480	84,867	148,164	1,146,235	154,273	1,300,508	△90,591	1,209,917
セグメント利 益又は損失 (△)	△44,528	47,525	△21,284	6,188	△12,099	△18,866	△30,965	1,095	△29,870

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業、旅行業及び建設・電気工事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,095千円には、固定資産未実現損益の消去額992千円、セグメント間取引消去102千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	卸売・ 小売業	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	824,886	87,883	109,094	148,179	1,170,042	114,812	1,284,855	—	1,284,855
セグメント間の内部営業収益又は振替高	2,569	3,762	2,129	9,363	17,824	120,500	138,325	△138,325	—
計	827,455	91,645	111,224	157,542	1,187,867	235,312	1,423,180	△138,325	1,284,855
セグメント利益	15,846	54,318	5,868	5,378	81,411	22,571	103,983	2,330	106,313

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業、旅行業及び建設・電気工事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2,330千円には、固定資産未実現損益の消去額979千円、セグメント間取引消去1,350千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鉄道事業」セグメントにおいて、15,414千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(重要事象等について)

当社グループは、2020年以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより、業績に重要な影響を受けました。業績は回復傾向にあるものの、監査・保証実務委員会報告第74号「継続企業の前提に関する開示について」に照らすと、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しているものとみなされます。このような事象又は状況を解消するために、以下の課題に取り組んでまいります。

- ・多面的な検証による適正な運賃・料金についての検討
- ・沿線の各観光施設への周遊の機会増加を図るためグループ一体となった各種イベント、諸施策の実施
- ・グループ全体の観光事業の再構築
- ・安定的で収益力の高い不動産事業への転換
- ・資金残高を踏まえた資産の有効活用と金融機関との関係の強化

これらの施策により、翌1年間の資金繰りは安定すると考えられることから、現時点において今後の事業継続に関して重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	1,203	1,193	0.9
	定期外	〃	745	700	6.4
	計	〃	1,948	1,893	2.9
貨物トン数		千トン	356	421	△15.5
旅客収入	定期	百万円	169	170	△0.6
	定期外	〃	297	277	7.1
	計	〃	467	448	4.2
貨物収入		〃	292	305	△4.2